

事業所名

児童発達支援センターしおん 放課後等デイサービス

支援プログラム

作成日

令和 7 年

2 月

13 日

法人（事業所）理念		1. 子どもたちが幸せな大人になっていくよう支援を行う 2. 保護者や家族をしっかりと支え 子どもたちの育ちの環境を整える 3. 地域支援を積極的に行うことで発達支援を充実させる		
支援方針		大和伸進会では、専門的知識をもったスタッフが「遊び」を通して、子どもの言語・コミュニケーションや学習能力を引き出す療育をおこなっています。また大和伸進会のスタッフは、子どもに関わる大人が、子どもの苦手さと特性を正しく理解して対応することが大切と考えています。大人の関わりの質を向上させ、大人が主導的に教え込むのではなく、味方である存在になる様に努めます。子どものモチベーションや自信を育て、『子どもから始める力』を導くことを目標に 親子共に育ちあえる場所でありたいと願っています。		
営業時間		11 時 00 分から 20 時 00 分まで	送迎実施の有無	有・無
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	安心や期待を感じながら通所できるような支援プログラムの恒常化や季節に応じた活動内容の立案・本人の表情や言動から心身の状態の把握と、それに伴い必要な環境調整などの対応・さまざまなあそびや活動を通じた体験的な学びの機会の保障		
	運動・感覚	サーキット、トランポリンやバランスボールを用いた粗大運動・微細運動へつながるさまざまな制作活動・感覚あそび・ボールを使った全身運動・感覚の過敏や低反応に対する環境調整		
	認知・行動	あそびを起点としたSST（ソーシャルスキルトレーニング）・生活に根付いた数、時間、空間、物の属性、大小、重さ、長さなどの概念理解やそれによる行動の気付きへとつながるあそびや活動・こだわり行動に対する異なる選択肢の提示		
	言語 コミュニケーション	仲間や支援者との相互作用において、相手を意識した言動や状況に応じた振る舞いといった、模倣行動提示の支援・発達特性や発達のニーズに応じた読み書きの支援		
	人間関係 社会性	人や環境に対する基本的な安心や信頼を感じられるようなアタッチメント（愛着）形成の支援・あそびや活動を通して他者とやりとりを交わすことで、自己認識や他者意識の芽生えとなる支援・相互のかかわりを通して対人関係や模倣行動獲得へのきっかけとなる支援・仲間や支援者とのやりとりに楽しさや期待を感じられる関係性の支援		
家族支援		日々子育てに向き合っている家族の思いを尊重するとともに、本人を多角的な視点から捉えることで心身の育ちのサポートしていきます。支援後のフィードバックやモニタリングを通して、本人の生活や育ち、発達のニーズの共有を図っていきます。	移行支援	相談支援事業所との連携を図りながら、進学や入学といったライフステージの移行先の選択・決定について家族への情報提供を行います。
地域支援・地域連携		家族のニーズに応じて小中学校へ訪問し、本人の姿の共有を図ります。また、支援の方向性や具体的な支援方法、環境調整について検討します。相談支援事業所や他の通所支援事業所との情報共有に努めます。	職員の質の向上	法人内及び外部研修に参加することで、情報や知識の獲得に努めます。また、事業所内での伝達研修を行い周知を図ることで、専門性の向上に努めます。PDCAを意識した計画的・系統的な支援の提供に努めることで、支援者としての実践知の向上に努めます。
主な行事等		季節を感じられる活動や制作を随時取り入れていきます。ショッピング活動を通してお金の価値や物との交換、さまざまな社会性の学びの機会を提供していきます。主に中学生集団が中心となって企画・準備・運営を行うイベントを開催します。安全計画に基づいた防災避難訓練実施します。		